



岡村 浩雅 議員
Hiromasa Okamura



- Q 英語教育をさらに充実させ、他自治体よりも魅力ある市に向けた市長、教育長の意気込みは。
- A さらなる英語教育充実のために教育委員会と協力しながら取り組んでいく。



ランチョパロスベルデス市ミラレステ中学校

- 3 子育てに 関係と協力 学童保育における夏休み期間中の食事の提供について
- Q 食事提供についての考えは。
- A 実施の可能性について研究していく。



その他の質問
◆マイナンバー情報総点検について

※セファール
外国語の習得状況を図るためのガイドライン。A1は、おおむね英検3級相当以上の学力があるとされている。

4 英語教育と 国際友好都市交流について

▶子どもたちの国際的な視野を広げることに努めていく

- Q 現在の学習指導要領が小学校では令和2年、中学校では令和3年より本格実施された。そこで現在までの英語教育の効果は。
- A 全国学力調査の質問紙の結果では、「英語の勉強は大切」、「将来役立つ」、「分かりやすい授業である」と回答した生徒は90%を超え、全国平均を上回っている。また、本市中学3年生の※セファールA1相当以上の割合が令和元年度35.9%に対し、令和4年度は37.6%と上昇している。

- Q 英検を自校で受験できない理由及び、自校受験に向けての取り組みは。
- A 学校側の事務負担が増える等の理由がある。自校受験については中学校で年1回の開催に向けて検討する。

- Q ランチョパロスベルデス市からの人材交流としてのALT(英語補助教員)受け入れは。
- A 今回の訪問を機会に着手をしていく。

- Q 東南アジアとの友好都市締結について。
- A アジアの都市とも交流機会の拡大を図っていく。



加藤 朋子 議員
Tomoko Kato



11 窓口業務の改善策は

▶ハード面を中心に改善の必要性は痛感している

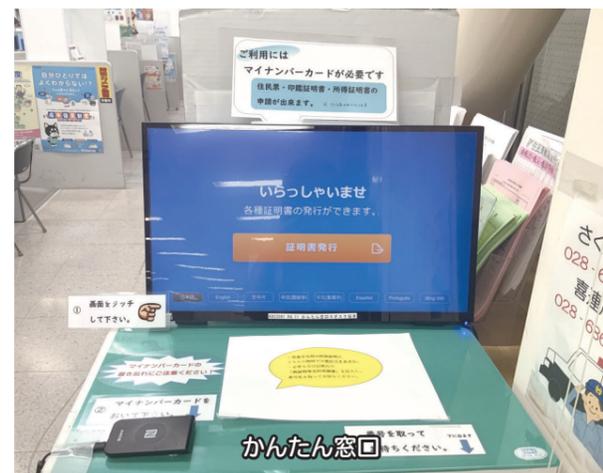
- Q 窓口業務の改善は市民サービスの向上と職員の業務量削減に直結する。待ち時間の短縮、ウェイティングゾーンの改善及び混雑時の人員配置は。
- A 窓口受付カード発行機を設置して、待ち時間の短縮に努めている。スペース不足については、本庁舎北側に取得した土地の有効活用について検討を進めている。また混雑時には全庁的に応援職員を増やして対応している。



市民課ウェイティングゾーン

- Q コンシェルジュ、総合窓口、ワンストップサービス、ライフイベント(転出入、結婚・出産、死亡時等)対応窓口の導入は。
- A 総合窓口係の職員が来庁者への声かけ及び庁舎の総合的な案内を行い、ライフイベントの届出は、様々な手続を一覧表にして渡している。

- Q 北見市発の「書かない窓口」、共通申請書の導入を検討しては。
- A 令和2年度からマイナンバーカード利用で申請書の住所、氏名の記入は自動で行う「かんたん窓口」を市民課窓口を導入。今後は他課への導入も進める。



かんたん窓口

3 子育てに 関係と協力 認知症事故救済事業を取り入れては

- Q 認知症の人が事故や事件を起こした場合、公費で加入した保険で賠償金を支給する制度が全国的に広まりつつある。当市でも導入しては。
- A 今後、国が策定する認知症施策推進基本計画との整合性を図り、他の市町村の動向にも注視をしながら、検討していきたい。



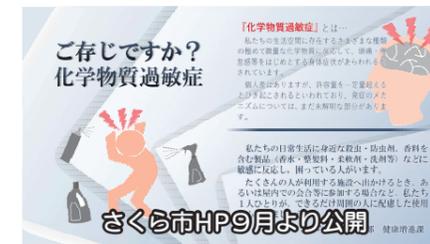
大河原 千晶 議員
Chiaki Okawara



3 深刻化する化学物質過敏症への対応は

一人ひとりが周囲に配慮する行動を促していくことが大切

- Q 市内で「化学物質過敏症」に苦しむ市民の把握は。また症状を未然に防ぐ施策は。
- A 把握していない。ホームページ等を通じた周知啓発を行い、苦しんでいる人がいる認識を持ってひとり一人が周囲に配慮する行動を促していく。



- Q 給食着の香りの相談対応は。
- A 不快感を感じた場合予備の給食着で対応したい。
- Q 公共施設での無添加・無香料の石鹸や芳香剤の設置対応は。
- A 通常に比べ高価であるが、調査検討していく。

10 防災機能の強化と充実に向けた取り組みは

- Q 自主防災組織の組織率100%の進捗状況は。
- A 令和5年8月現在、75行政区中43で57.3%。行政区の事情を考慮し、複数行政区での設立や補助金制度の活用を呼びかけている。
- Q 避難所内に「思いやりルーム」を設置しては。
- A 研究し、いいものは取り入れていきたい。

- Q 避難所における多様な視点(女性参画、性的マイノリティの方への配慮など)に対する考えは。
- A パーテーションや一人用 TENT を備えているほか、生理用品や紙おむつを備蓄している。また、エリエールプロダクト(株)栃木工場との防災協定により、それらが不足した際は提供を受ける。

- Q 避難所における性犯罪防止のため防犯ブザーの設置は。
- A 早急に対応できるよう進める。
- Q ペットの同行避難は。
- A 矢板市の(株)グリーンヘリテージ(58口ハス)と防災協定を結んでおり、同行避難希望者には勧める。

全避難所の屋根への太陽光パネル、蓄電池設置の拡充予定は。

- A 太陽光パネルと蓄電池のセットは市内8か所設置。小中学校で未設置の上松山小学校、喜連川中学校は※PPAモデルの導入を検討していく。現状では、停電発生の場合(株)アクティオとの防災協定により発電機や照明機器はレンタルするほか、三菱自動車との協定により電源車となるPHEVを提供してもらうことで対応。状況に応じて消防団や自主防災組織が保有する発電機や照明機器を活用し電力確保に努める。



※PPAモデル
PPA事業者(太陽光発電の設置事業者)が電力消費者(自治体)の建物の屋根や敷地などのスペースに太陽光発電設備を無償設置し、運用・保守を行う。



落合 千枝子 議員
Chieko Ochiai



11 市営上野住宅跡地の利用について

第4次さくら市土地利用調整基本計画に沿って活用

- Q 今後の跡地利用についてどのように考えているか。
- A 市営上野住宅跡地の取扱いは、市全体の土地利用を考慮し、周辺の土地利用の動向等も注視し、地元行政区の意向を伺い、民間活力の導入等も視野に入れ有効な活用方法について検討を進めていく。



15 農業体験と食育・観光連携について

- Q グリーンツーリズムを通じた農業と観光の連携を実施する考えはあるか。
- A グリーンツーリズムと呼ぶにふさわしい体験型観光に、官民連携で積極的に取り組み、農業振興、観光振興、地域振興を推進していく。

- Q 学校と連携して農業体験を実施する考えはあるか。

- A 学校における農業体験と食育の取り組みは、知識だけでなく実践的な経験を通して子ども達の健全な発達と、社会的な後継意識の醸成に重要な役割を果たしている。生産者、JA、地元の方々などの協力を仰ぎながら、これまで以上に充実させ成果を上げられるよう努める。



8 さくら市職員の特別休暇の取得状況について

- Q 育児休暇の取得状況は。
- A 短期休暇である配偶者出産休暇及び育児参加休暇については、男性職員の取得率は令和4年度は100%である。男性の育児休業の取得をさらに推進し、相談体制の整備を図る。
- Q 生理休暇の取得状況は。
- A 令和2年度から令和4年度まで取得した職員はいない。生理休暇の名称変更など、働きやすい職場環境づくりを目指していく。



加藤 誠一 議員
Seiichi Kato

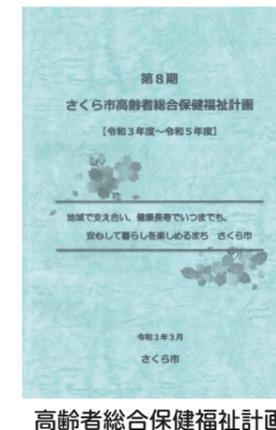


3 高齢者福祉
高齢者福祉施策の課題、今後の取り組みについて

▶ 福祉施策のさらなる充実と地域ケア体制の進化に取り組む

- Q 地域共生社会に向けて地域包括支援センターの利便性の向上を図るべきではないか。
- A 地域包括支援センターの担当地区について今後検討していく。また、中心部への移転や出張所の確保等を積極的に支援していく。

- Q 福祉施策を充実させるには社会福祉協議会との連携が重要であり、協議会の体制を一層充実させるべきではないか。
- A 協議会と意見交換会等で議論を重ね真摯に対応していく。



高齢者総合保健福祉計画

10 外国人の受け入れと生活支援等対応は

- Q 外国人の現状と今後の生活支援は。
- A 令和5年8月時点で544名が外国人登録されている。人口減少、労働力不足の担い手として経済活動に寄与していると認識している。また生活支援については、さくら市での暮らしが楽しめるよう環境整備に取り組んでいく。

- Q 外国人(労働者)の生活支援を充実することは、結果的に企業誘致にも寄与するのではないか。
- A 企業からの情報収集に努め必要な施策を進めることで企業誘致にも期待できると考える。

- Q 日本語教室についてオンラインなどによる充実はできないか。
- A オンライン教室など効果的なあり方を研究していく。



日本語教室

4 文化財の活用
さくら市文化財保存の現状と今後の活用は

- Q 文化財の保存の現状と今後の活用は。
- A 本市には215件のさくら市指定文化財がある。今後も継続して貴重な文化財の保護、調査研究を進め、後世に継承し、さくら市の魅力発信に努めていく。



笹沼 昭司 議員
Shoji Sasanuma



3 高齢者福祉
加齢性難聴に伴う補聴器購入補助について

▶ 令和6年度中に実施できるよう取り組む

- Q 補聴器の利用が、認知症の発症リスクの軽減につながるのでは。
- A 改善可能な軽度認知症の発生や進行の原因を抑えるためには難聴を防止することは効果的と考える。



11 公共施設
公共施設の包括管理について

- Q 建物やインフラに関する保守管理や修繕に一括包括業務委託を活用しては。
- A 事務負担の軽減、管理水準の向上、コスト削減などのメリットがあるが、デメリットもあり、慎重に見極めていく。

- Q どのような施設に導入できるか。
- A 長期的に管理運営していく施設と考える。

11 公共施設
自治会等のデジタル化について

- Q 自治会等の地域コミュニティの希薄化や、担い手不足についての認識は。
- A 地域コミュニティは大切であるが、行政区加入率は近年低下傾向で、本年4月1日現在67.63%であり、コミュニティの存在が揺らぐことも危惧され、憂慮すべき状況である。

- Q 自治会支援策は。
- A 今後は市民体育祭など、地域コミュニティ醸成に資する活動には何らかのインセンティブ付与を検討していく。

- Q 小田急電鉄株式会社が提供する自治会や町内会向けのSNSアプリ「いちのいち」があるが、市のモデル事業として検討してはどうか。
- A デジタル技術による情報共有、情報交換の活性化は、即地域コミュニティの活性化につながる有効な手段であり、調査研究していく。



自治会アプリ

その他の質問

- ◆鍼灸、マッサージ助成について
- ◆不登校児童生徒について

先進地に学ぶ

議会広報委員会

日時 令和5年7月3日(月)～4日(火)



詳細はこちら

岩手県金ケ崎町

金ケ崎町議会は、町村議会広報コンクールにおいて、平成25年度の最優秀賞をはじめ、令和3年度優良賞、令和4年度優良賞と上位入賞の常連です。紙面には、表紙写真や町民主役のページなどに多くの町民が登場しています。

編集モットーを「ありのままに解りやすく」「議員の力で」「スピード発行」と掲げ、発行責任者である議長及び議会広報常任委員会に所属する議員計8名で行っています。

編集会議は、議員が主体で定例会初日から発行まで3回行い、事務局は数字などの確認程度です。積極的に町村議会広報クリニックにも参加しています。



感想

委員の皆さんが一丸となってそれぞれの役割をこなしており、手作りで編集を行なっている姿に感銘を受けました。また町民の皆様と信頼関係を築き、多くの場で町民からの意見や感想を載せるなど、これまで続けてきた活動が誌面に表れているのだと感じました。

岩手県盛岡市



盛岡市議会は、中核市議会議長会における第15回議会報コンクールで最優秀賞を受賞しました。平成30年5月発行号から表紙のリニューアルや特集ページを盛り込むなど内容の見直しを続けており、コンクールでも特集ページにおける企画力を評価されています。特徴は、タブロイド判で発行している点です。リニューアル時にタイトルロゴの変更を行い、イメージを刷新しました。また点字や音声の議会だよりも作成しています。基本

方針を「議会活動の記録ではなく、市民が知りたい内容にポイントを絞った記事を掲載する」、基本コンセプトを「手にとってみたくなる」「プロセスがわかる」「ポイントを抑える」としています。

また市内全世帯に配布するため、広報もりおかに折り込んでいます。また、ポスティングで配布するなど一人でも多くの市民に届くよう工夫しています。

感想

盛岡市の議会だよりの印象は、「紙面が大きく見やすい」ことです。なるべく字数を減らし、要点に集中された記事になっていることで、市民が手に取るきっかけとなっていました。

先進地に学ぶ

議会運営委員会

日時 令和5年7月10日(月)～12日(水)



詳細はこちら

北海道帯広市

平成24年4月、議会の活性化に向け、市民への誓約として定める議会の最高規範である「議会基本条例」が施行されました。

この条例の制定により、議員・議会が基本に立ち返り、解釈運用を時代の流れを見ながら改善・改革を行なっています。



感想

時代の流れに併せた条例の運用が重要と感じました。

北海道芽室町

平成25年度に「議会基本条例」を制定し、これを最高規範としています。議会改革の重要な3つのポイントは、議会の生中継や市HPによる『情報の公開』、議会モニター制度と意見交換会による『住民参加』、『議員の資質向上』により議会力の向上に繋がっています。



この条例の制定により、議会の意向を内外に向けて明確にし、議会の現状と課題、今後の展望を自分事として考え、改革の実現に向け取り組んでいます。

感想

3つの重要なポイントの実践が、議会力の向上につながることを感じました。

議員間討論のグランドルール

- ① 事実に基づいて議論をする
- ② 自分の意見だけが正しいと思わない
- ③ ありとあらゆる角度から検討する
- ④ みんなが一致した基準で判断する

政策形成過程における論点の整理

- (1) 政策等の発生源 課題・目的
- (2) 検討した他の政策等の内容 代替案
- (3) 他の自治体の類似する政策等との比較 検討 比較分析
- (4) 総合計画の実行計画及び個別計画における根拠又は位置付け 計画性・整合性
- (5) 関係ある法令及び条例等 根拠性
- (6) 政策等の実施に関わる財源措置 継続性
- (7) 総合計画上の実行計画及び将来にわたる政策等のコスト計算 予測性

北海道美瑛町

令和5年3月に「自治基本条例」を制定し、その中に議会における基本的な事項を定めました。今後、会議規則等の見直しを行う予定です。この自治基本条例の制定により『町民・議会・行政が役割を果たして、共に協力し合ってまちづくり』を実現するため、相互にかかわっています。



感想

町民・議会・行政が相互にかかわる取り組みが参考になりました。

視察終了後、7月27日に今回の議会運営委員会視察の検証・検討会を開催し、8月22日に議長あてに検討結果報告書を提出しました。

どうなったんべ あの質問は



雨水排水対策について

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

平成17年 第3回定例会
平成25年 第2回定例会



さくら市では以前、氏家中心市街地で豪雨により道路が冠水したり、道路に水が溢れて家屋が浸水被害を受けてきました。雨に強いまちづくりを目指し、平成24年度に五行川河川管理者である栃木県と協議を行ない、氏家市街地雨水排水基本計画を策定し、五行川の河川改修工事をはじめ、側溝・水路の新設・修繕工事といった事業を実施してきました。



五行川(改修前)



令和3年度から、草川地区雨水排水対策事業を行なっています。昨今の気象現象の変化へ対応できる雨水排水対策事業を推進し、氏家市街地の冠水リスクの軽減に向け取り組んでいきます。



五行川(改修後)

議会レポート

栃木県市議会議長会議

7月7日
・福田 克之 議長
・高瀬 一徳 副議長

県北五市議長会議

8月25日
・福田 克之 議長

各種委員会等出席

●令和5年度氏家商工まつり実行委員会

7月11日
・小堀 勇人 議員

●さくら市農業士等推薦委員会

8月17日
・小堀 勇人 議員

監査

●例月現金出納検査

8月28日、
9月26日
・渋井 康男 議員

●決算審査

7月7・14・20・21・26日
・渋井 康男 議員

全国都市監査委員会総会・研修会

8月24日～25日
・渋井 康男 議員

国際友好都市訪問事業

8月3日～7日
友好都市締結3周年式典及びRPV(ランチョパロスベルデス市)市政50周年記念カウントダウンイベントに参加しました。
・笹沼 昭司 議員

9月7日～13日
RPV(ランチョパロスベルデス市)市政50周年イベントに参加しました。
・石岡 祐二 議員
・岡村 浩雅 議員
・大河原 千晶 議員

視察等来訪

7月4日
高知県四万十市議会議員1名がさくら市バイオマス産業都市構想とエリアンサスを活用した取り組みについて視察に訪れました。



9月26日
熊本県水俣市議会議員3名が桜の郷づくり、道の駅きつれがわの取り組みについて視察に訪れました。



議会の動き

- 7月**
 - 3日 議会広報委員会行政視察(～4日)
 - 4日 高知県四万十市議会議員視察来訪
 - 6日 議会広報委員会
 - 7日 栃木県市議会議長会議 決算審査
 - 10日 議会運営委員会行政視察(～12日)
 - 13日 県土整備委員会
 - 14日 議会広報委員会 決算審査
 - 19日 議員全員協議会
 - 20日 議会広報委員会 決算審査
 - 21日 初当選市町村議会議員研修会 決算審査
 - 22日 氏家商工まつり開会式
 - 25日 天機奉伺
 - 26日 第19回さくら市議長杯平和記念大会 決算審査
 - 27日 さくら市広島平和記念式典中学生派遣事業結団式 議会運営委員会
 - 29日 喜連川神社例大祭式典 さくら市喜連川B&G海洋センター「リニューアルオープン式典及び数護室配備式典」夏祭百物揃行列
- 8月**
 - 3日 国際友好都市訪問事業(～7日)
 - 4日 第73回利根川治水同盟治水大会
 - 5日 令和5年度さくら市広島平和記念式典中学生派遣事業出発式
 - 22日 議員全員協議会 議会運営委員会 クビアカツヤカミキリ被害防止対策本部会議

- 8月**
 - 23日 ライトライン試乗会
 - 24日 天機奉伺
 - 25日 県北五市議長会議
 - 26日 芳賀・宇都宮LRT開業式・発車式 さくら市きつれがわサマーフェスティバル&花火大会
 - 28日 議会運営委員会 例月現金出納検査
- 9月**
 - 1日 議員全員協議会 第3回定例会開会 議会広報委員会
 - 4日 第3回定例会一般質問
 - 5日 第3回定例会一般質問
 - 7日 国際友好都市訪問事業(～13日)
 - 19日 第3回定例会決算審査特別委員会(文教厚生) 議会運営委員会 議員全員協議会
 - 20日 第3回定例会決算審査特別委員会(建設経済) 議会広報委員会
 - 21日 第3回定例会決算審査特別委員会(総務)
 - 25日 第3回定例会総務常任委員会
 - 26日 第3回定例会文教厚生常任委員会 熊本県水俣市議会議員視察来訪 例月現金出納検査
 - 27日 第3回定例会建設経済常任委員会
 - 28日 第2回塩谷市町村議会議長会
 - 29日 第3回定例会総務常任委員会
- 10月**
 - 3日 議員全員協議会 議会運営委員会 第3回定例会閉会



市民の声

子どもたちの未来のために



SSaバレーボールスクール

代表 ^{せき} 関 ^{けん いち} 健一 (八方口)

SSa (Shioya Sakura) バレーボールスクールは、「バレーボールを楽しむこと」を活動理念とし、中学生を対象に2021年のスクール設立より日々活動しています。

現在では、さくら市内外から40名近くの中学生が練習機会を求めて参加してくれています。また、各々が自分のスタンスに合った練習ができる環境、体制を築いていくために「自主自立」という指導目標を掲げています。自ら考え、自ら練習に取り組むことで、これから先の人生においての礎を築いてもらえたらとも考えています。

バレーボールは「繋ぐ」スポーツです。ラリー中はボールを止めることはできません。他校の生徒と練習することで、普段コミュニケーションを取る事のない人と繋がれることもスクール活動の醍醐味でもあります。

これからの未来、より良い学生スポーツ活動が提供できるように、市議会の皆さまには、バレーボールのみならず学生のスポーツ活動全般に対するご協力をお願いします。



《表紙写真》

SSaバレーボールスクール

対象：中学生

内容：バレーボール

お問い合わせ：関 健一

☎090-4398-7041

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

議会広報委員会



石岡 祐二 永井 孝叔 笹沼 昭司 若見 孝信 加藤 誠一
小堀 勇人 副委員長 大河原 千晶 委員長 加藤 明子 落合 千枝子

お知らせ

次回 12月定例会予定

11月29日(水)~12月14日(木)

一般質問 11月30日・12月1日・2日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

- 議員年金について
平成23年6月1日をもって廃止されました。
- 政務活動費について
さくら市議会は支給されておりません。